

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	流域浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	流域下水に接続している地域(熊毛地 域)	事業の目的 (意図)	流域下水道を利用する地域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	周南流域下水道接続点(5箇所)の水質調査を行い、県に報告する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	168.0	168.0
				実績値	168.0	168.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,458	1,863	1,971	2,028
うち一財		千円	1,458	1,863	1,971	2,028	2,028
(決算額)	直接事業費	千円	918	1,350		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	918	1,350		分析単価増額の為	
	正職員人件費	千円	2,222	2,198			
	人工数	人	0.30	0.30	0.45		
	支出コスト	千円	決) 3,140	決) 3,548			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	山口県流域下水道維持管理要綱に基づき、周南流域下水道接続点(5箇所)で年1回水質調査を実施し、県に報告をしている。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 水質汚濁防止法の項目追加により、調査項目が増加する
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	山口県流域下水道維持管理要綱に従い、適切に事業を実施する。		評価責任者コメント	事務事業の方向性のとおり

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
山口県流域下水道維持管理要綱に基づく調査項目であり、項目数の変動なし。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	流域浄化センター水質調査分析業務	周南流域下水道接続点(5箇所)の水質調査を行う。	周南流域下水道へ異常水の流入がないか調査を行う。	1,350 可	0.30	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	下水道水質指導監督費			
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市の公共用水域	事業の目的 (意図)	事業場からの排出水を監視することで、公共用水域の環境保全に寄与する。
事業の内容 (手段)	特定事業場からの流入水について監視指導を行う。(徳山・新南陽・熊毛地域延べ74箇所・340項目)		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	96.0	89.0
特定事業場排水基準遵守事 業場数		特定事業場排水の調査を実施 した結果、排水基準を遵守した 事業場数	事業場	実績値	78.0	82.0	
				達成度(%)	81.3%	92.1%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,137	1,367	1,053	891
うち一財		千円	1,137	1,367	1,053	891	891
(決算額)	直接事業費	千円	864	659		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	864	659		のべ調査事業場の 削減	
	正職員人件費	千円	2,592	2,564			
	人工数	人	0.35	0.35	0.60		
	支出コスト	千円	決) 3,456	決) 3,223			

【評価】 Check

課題・問題・ 評価等	事業開始からの 推移	徳山・新南陽・熊毛地域の特定事業場からの流入水の調査を行い、排出基準値を超過した事業場に対して指導を行っている。	課題・ 問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 調査事業場数、調査頻度が妥当か検討を要する。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由
	事務事業の 方向性	調査事業場、調査頻度を検討する必要がある。	評価 責任者 コメント	決算額と予算額の乖離が見られるので、事務事業の方向性に記載されている内容も含め検討が必要である。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
調査事業場数、調査頻度が妥当か検討し、のべ調査事業場数を削減。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	事業場排水水質調査	市内特定事業場からの流入水の調査を行う。	特定事業場からの流入水の監視を行う。	659 可	0.35	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	中央浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(徳山中央処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水污泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	260.0	260.0	260.0
					実績値	260.0	260.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	328,403	342,788	397,492	362,935	362,935
	(予算額) うち一財	千円	328,403	342,788	397,492	362,935	362,935
	直接事業費	千円	274,703	285,363		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	274,703	285,363		中央場内整備費を 東部修繕費に一括 計上	
	正職員人件費	千円	25,547	25,278			
人工数	人	3.45	3.45	3.15			
支出コスト	千円	決) 300,250	決) 310,641				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	昭和41年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って再構築、長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価 責任者 コメント	事務事業の方向性のとおり、計画的に再構築を進める必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
長寿命化計画による改築がすすみ、修繕費を削減	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	中央浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	285,363 可	3.45	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	東部浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(徳山東部処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水汚泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
	水質汚濁防止法に規定される 排水基準項目	水質分析結果のうち排水基準 を遵守した検体数	検体	目標値	260.0	260.0	260.0
実績値				260.0	260.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	189,910	192,262	200,452	233,387
うち一財		千円	189,910	192,262	200,452	233,387	233,387
(決算額)	直接事業費	千円	185,411	186,037		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	185,411	186,037		電力費増、各浄化 センター場内整備 費を東部修繕費に 一括計上	
正職員人件費	千円	9,627	9,525				
人工数	人	1.30	1.30	1.30			
	支出コスト	千円	決) 195,038	決) 195,562			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	平成2年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守 するよう運転管理を行っている。		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管 理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配 慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価 責任者 コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭 に、優先順位をつけながら、計画的実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など) 燃料調整費、再エネ発電賦課金による電力費増。各浄化センター場内整備費を一括計上の為事業費 が増大(下水道施設課事業費全体ではH29に比べ、約10,000千円減)	備考
--	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	東部浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	186,037 可	1.30	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新南陽浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(新南陽処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水汚泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
水質汚濁防止法に規定される 排水基準項目		水質分析結果のうち排水基準 を遵守した検体数	検体		260.0	260.0	260.0
					260.0	260.0	
					100.0%	100.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	251,094	258,826	252,832	255,988	255,988
(予算額)	うち一財	千円	251,094	258,826	252,832	255,988	255,988
(決算額)	直接事業費	千円	243,140	253,249		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	243,140	253,249		修繕費増、燃料調整費、再エネ発電賦課金による電力費増。電気設備機器点検費増	
正職員人件費	千円	15,921	16,119				
人工数	人	2.15	2.20	1.90			
支出コスト	千円	決) 259,061	決) 269,368				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	昭和54年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
燃料調整費、再エネ発電賦課金による電力費増。電気設備機器点検費増。場内整備費を東部修繕費に一括計上の為事業費微増	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新南陽浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	253,249 可	2.20	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	北部浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(新南陽北部処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水污泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	260.0	260.0	260.0
					実績値	260.0	260.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	12,774	13,335	12,737	10,542	12,737
	(予算額) うち一財	千円	12,774	13,335	12,737	10,542	12,737
	直接事業費	千円	10,745	10,367		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	10,745	10,367		北部場内整備費を 東部修繕費に一括 計上	
	正職員人件費	千円	0	0	0.00		
人工数	人	0.00	0.00				
支出コスト	千円	決) 10,745	決) 10,367				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成8年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など) 電気設備機器点検費増、北部場内整備費を東部修繕費に一括計上の為、事業費減	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	北部浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	10,367 可	0.00	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	鹿野浄化センター施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(鹿野処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水汚泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	380.0	380.0	380.0
					実績値	380.0	380.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	36,258	34,363	40,701	32,023	32,023
	(予算額) うち一財	千円	36,258	34,363	40,701	32,023	32,023
	直接事業費	千円	32,690	27,827		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	32,690	27,827		修繕費減額	
	正職員人件費	千円	3,703	3,664			
	人工数	人	0.50	0.50	0.45		
	支出コスト	千円	決) 36,393	決) 31,491			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成11年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。		評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
修繕費減額により事業費減	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	鹿野浄化センター施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	27,827 可	0.50	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	農業集落排水施設管理事業費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(須々万、高瀬、八代処理区内)	事業の目的 (意図)	処理場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	公共用水域への放流水質基準を遵守するため、施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、下水汚泥処分、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	616.0	558.0
	水質汚濁防止法に規定される 排水基準項目	水質分析結果のうち排水基準 を遵守した検体数	検体	実績値	616.0	558.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	76,555	79,541	70,960	71,483
うち一財		千円	76,555	79,541	70,960	71,483	71,483
(決算額)	直接事業費	千円	71,138	66,237		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	71,138	66,237		電力費、薬品費増	
	正職員人件費	千円	2,962	15,753			
	人工数	人	0.40	2.15	1.10		
	支出コスト	千円	決) 74,100	決) 81,990			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	須々万市は昭和63年に、須々万中央は平成12年に、高瀬は平成12年に、八代は平成18年に供用開始し、公共用水域への放流水質基準を遵守するよう運転管理を行っている。	課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 放流水質基準を遵守しつつ、いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価 責任者 コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など) 電力費、薬品費が増額となったが、修繕費を減額し、事業費微増。	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	農業集落排水施設管理事業	放流水質基準を遵守する。	放流水質基準を遵守するよう運転管理を行う。	66,237 可	2.15	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	江口ポンプ場維持費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(徳山中央処理区内)	事業の目的 (意図)	ポンプ場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
ポンプ場内設備の定期点検の実施	保守点検報告書の確認	回	回	目標値	12.0	12.0	12.0
				実績値	12.0	12.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	18,041	17,949	16,113	10,184	16,113
(予算額)	うち一財	千円	18,041	17,949	16,113	10,184	16,113
(決算額)	直接事業費	千円	12,985	12,827		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	12,985	12,827		修繕費減額し、新南陽汚水中継ポンプ場費へ一括計上	
正職員人件費	千円	2,222	8,792				
人工数	人	0.30	1.20	0.80			
	支出コスト	千円	決) 15,207	決) 21,619			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	合流部分は昭和49年に、分流部分は昭和60年に供用開始し、徳山中央浄化センターに送水している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した運転管理を行っていく必要がある。	評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
修繕費減額し、新南陽汚水中継ポンプ場費へ一括計上	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	江口ポンプ場維持費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	12,827 可	1.20	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新南陽汚水中継ポンプ場維持費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(新南陽処理区内)	事業の目的 (意図)	ポンプ場を安定的に運転することにより、市民の健康に安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。
事業の内容 (手段)	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
	ポンプ場内設備(2か所)の定期点検の実施	保守点検報告書の確認	回	目標値	24.0	24.0	24.0
実績値				24.0	24.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	17,815	18,011	18,176	24,995
うち一財		千円	17,815	18,011	18,176	24,995	24,995
(決算額)	直接事業費	千円	15,685	17,014		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	15,685	17,014		江口修繕費を一括計上	
	正職員人件費	千円	0	0			
	人工数	人	0.00	0.00	0.00		
	支出コスト	千円	決) 15,685	決) 17,014			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	古開作は昭和57年に、福川は昭和60年に供用開始し、新南陽浄化センターに送水している。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配慮した維持管理を行っていく必要がある。		評価責任者コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭に、優先順位をつけながら、計画的実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
新南陽汚水ポンプ場費は、修繕費を減額したが、江口分修繕費を一括計上している為事業費増額。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新南陽汚水中継ポンプ場維持費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	17,014 可	0.00	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新南陽雨水ポンプ場維持費		
担当部・課名	上下水道局下水道施設課	評価者 (課長)	宮本幸雄	評価責任者 (部長)	久村信幸

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600507	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(7)雨水排除施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	周南市民(新南陽処理区内)	事業の目的 (意図)	雨水等による農地、宅地への冠水を防ぎ、市民の財産を保護する。
事業の内容 (手段)	施設の保守点検、修繕、産業廃棄物処分等を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
	ポンプ場内設備(6か所)の定 期点検の実施	保守点検報告書の確認	回	目標値	72.0	72.0	72.0
実績値				72.0	72.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	48,864	47,593	48,696	50,749
うち一財		千円	48,864	47,593	48,696	50,749	50,749
(決算額)	直接事業費	千円	55,248	50,385		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	55,248	50,385		修繕費、電力費増 額	
	正職員人件費	千円	370	733			
	人工数	人	0.05	0.10	0.10		
	支出コスト	千円	決) 55,618	決) 51,118			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	野村開作は昭和55年に、福川は平成7年に、新地は平成23年 に供用開始し、雨水排水を行っている。		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 いかに効率的かつ低コストで管理していくかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	施設の老朽化に伴って長寿命化計画を進めており、計画に配 慮した維持管理を行っていく必要がある。		評価 責任者 コメント	財政健全化計画及び下水道事業経営戦略の目標達成を念頭 に、優先順位をつけながら、計画的実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など) 修繕費、電力費が増加の為、事業費増。	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	新南陽雨水ポンプ場維持費	適正な維持管理を行う。	ポンプ場を効率的に維持管理する。	50,385 可	0.10	0.00	
②							
③							
④							
⑤							